

LIXILギャラリーおよび その他LIXIL文化活動のあゆみ（年表）

1981年	銀座ショールーム内に「INAXギャラリー（当時伊奈ギャラリー）1・2」を開設。
1984年	大阪ショールーム（四ツ橋）内に「INAXギャラリー大阪」を開設。
1986年	出版事業を開始（現LIXIL出版）。愛知県常滑市に「窯のある広場・資料館」を開設。 ギャラリー活動に対し、日本デザイン協会「日本文化デザイン賞」受賞。 ショールームで地域密着型の展覧会活動を行う。札幌スペース（1986-2000）、広島スペース（1987-1998）、金沢スペース（1992-2003）、高松スペース（1992-1998）
1988年	名古屋ショールーム内に「INAXギャラリーナゴ屋」を開設（2012年5月休廊）。 銀座ショールーム1階に「INAXブックギャラリー」を開設（2018年閉店）。 常滑市に「とこなめトイレパーク」を開設。
1989年	「INAXデザインプライズ」を創設し、ヨーロッパの陶芸家を招聘（-1998年）。
1991年	ギャラリーでの展覧会開催や出版活動が評価され「第1回メセナ大賞・特別賞」受賞。
1993年	ギャラリー1の展示と図録に対し、日本建築協会「第3回日本建築協会賞」受賞。
1994年	新宿ショールーム内に、「INAXガレリア・セラミカ」を開設（2006年京橋に移転）。 「窯のある広場・資料館」が日本産業デザイン振興会「グッドデザイン賞」受賞。
1997年	常滑市に「世界のタイル博物館」を開設。「窯のある広場・資料館」が「登録有形文化財」に指定。 「世界のタイル博物館」が愛知県「第5回愛知まちなみ建築賞」受賞。
1999年	常滑市に「陶楽工房（とうがくこうぼう）」を開設。
2001年	「世界のタイル博物館」「INAXギャラリー」などの活動に対し、「第11回メセナ大賞・企業文化賞」受賞。
2005年	INAX出版「青木淳 JUN AOKI COMPLETE WORKS 1」が「第39回造本装丁コンクール・経済大臣賞」受賞。
2006年	「土・どろんこ館」「ものづくり工房」を新設し5館からなる「INAXライブミュージアム」を常滑市にグランドオープン。 「INAXギャラリー大阪」はショールームの移転に伴い、四ツ橋から本町に移転。
2007年	「世界のタイル博物館」の展示リニューアル。「窯のある広場・資料館」が経済産業省「近代化産業遺産」に認定。 「INAXライブミュージアム」が、「グッドデザイン賞」、日本サインデザイン協会「第41回SDA賞・地区デザイン賞」受賞。 「土・どろんこ館」が中部建築賞協議会「第39回中部建築賞」、愛知県「第12回人にやさしい街づくり賞」「第15回愛知まちなみ建築賞」受賞。

2008年	<p>「INAXライブミュージアム」の活動がキッズデザイン協議会「第2回キッズデザイン賞／コミュニケーションデザイン部門」受賞。</p> <p>「ものづくり工房」がジオ・ポンティ設計「聖フランチェスコ教会」のタイル修復に協力、ミラノ副司教から記念プレートを授与。</p>
2009-11年	<p>「窯のある広場・資料館」の常設展示をリニューアル。</p>
2012年	<p>『LIXILギャラリー』『LIXILブックギャラリー』『LIXIL出版』へ名称を変更。</p> <p>「建築陶器のはじまり館」をINAXライブミュージアムに開設。</p> <p>生活文化の歩みと企業史を展示する「LIXIL資料館」を東京都江東区に開設（-2018）。</p>
2013年	<p>「LIXILギャラリー」大阪会場はショールームの移転に伴い、本町からグランフロント大阪（梅田）に移転。</p> <p>「INAXライブミュージアム」が、テラコッタの継続的な収集・保存・公開等の活動に対し日本建築学会賞（業績）を受賞。</p>
2014年	<p>「やきもの展」の企画リニューアル。美術評論家・日本陶磁協会常任理事 森孝一氏がアドバイザーとなる。</p> <p>LIXIL出版『食と建築土木』が第5回辻静雄食文化賞を受賞。</p>
	<p>「現代美術展」の企画リニューアル。監修者として清水敏男（アートディレクター）、宮田亮平（金工作家）、伊東豊雄（建築家）、隈研吾（建築家）が「クリエイションの未来展」を開催する。</p>
2015年	<p>東京 東急文化村のBunkamura Galleryで、INAXライブミュージアム「世界のタイル博物館」収蔵のタイルコレクションを展示する「Tiles一枚の奥ゆき、幾千の煌めき」展を開催。</p>
2016年	<p>INAXライブミュージアムグランドオープン10周年特別展「つくるガウディ」展を開催。</p>
	<p>LIXIL:GINZA（東京・京橋）にて「LIVING CULTURE - LIXILギャラリーのグラフィック35年の視点 -」開催（ギャラリー開設35周年記念特別展）。</p>
	<p>東京 東急文化村のBunkamura Galleryで、INAXライブミュージアムの陶磁器製古便器コレクションを展示する「染付古便器の粋—青と白、もてなしの装い」展を開催。</p>
2017年	<p>LIXIL:GINZA（東京・京橋）にて、「くらし文化遺産 - 変革の記憶、LIXILの宝もの -」展開催。</p>
	<p>LIXILが運営する3つの博物館施設「LIXIL資料館」（2018年閉館）、「INAXライブミュージアム」、「川島織物文化館」のコレクションより。</p>
	<p>LIXILの文化活動が、第12回西洋美術振興財団賞「文化振興賞」を受賞。その成果の一つとして、INAXライブミュージアムで2016年-2017年に開催した「つくるガウディ」展が評価を受けた。</p>
2018年	<p>LIXILギャラリー（巡回展）の会場デザインを担当したジョイントセンター株式会社（代表取締役 原兆英）が同ギャラリー「超絶記録！西山卯三のすまい採集帖」の会場構成で「インテリアプランニングアワード2018」の「特別審査委員賞」を受賞。</p>
2019年	<p>2018年に発刊したLIXILブックレットがCatalTo2018「カタログヒットメーカー賞」受賞（Catalogue de Tokyo=展覧会図録品評勝手連 TOKYO／東大比較文學會 東大比較文學會）。</p>
	<p>INAXライブミュージアム「窯のある「広場・資料館」が、3年余に及ぶ保全工事を経てリニューアルオープン。</p>
2020年	<p>コロナウイルス感染拡大防止のため、3月からLIXILギャラリーの臨時休館および展覧会開催の中止。</p> <p>LIXILギャラリーの活動終了に伴い、LIXILギャラリー（東京・大阪）閉廊。</p>